

世界のデング熱流行状況(更新 10)

2010年6月1日 ProMED 情報

(1)コロンビア(ノルテ・デ・サントアンデル Norte de Santander 州) [Diario La Opinion]

ノルテ・デ・サントアンデル州 Ocana 市では、29名のデング熱患者が発生しました。患者の47%が15才未満の子供でした。

(2)ガボン[Romandie]

4月にガボン南東部でのチクングニヤ熱の発生が報告されました。同地区ではデング熱患者も報告されています。5月の3週間(3~23日)で、フランスビル Franceville 地域の608名の検体中82名の検体でデング熱が見つかりました。なおこのうちの15名はチクングニヤ熱とデング熱の重複感染でした。

[ProMED 調整者]

これは興味あるチクングニヤ熱とデング熱の重複感染の流行です。両ウイルスは同じヤブカによって感染しますが、媒介蚊の種類を確認するのは興味があります。リーブルビル Libreville ではチクングニヤ熱ウイルスを媒介する蚊がネッタイシマカと同じヒトスジシマカである可能性があります。これらの蚊は両方ともデングウイルスを伝播します。

(3)フィリピン(Western Visayas) [The News Today]

デング熱疑い患者が発生したためイロイロ Iloilo 州保健省は調査班を派遣しました。同州では、1月から4名の死亡患者が発生しています。発生地域は Passi 市、Guimbal、Oton、Pototan です。西ビサヤ Western Visayas 地域では1月~5月8日までに1,311名(2009年1~6月の患者の4倍)のデング熱患者と7名の死亡患者が発生しました。このうち、Negros Occidentalでは患者数が最も多く380名で2名の死亡患者が発生しました。バコロド Bacolod 市は患者266名、イロイロ州は患者231名でそのうち4名が死亡患者、イロイロ市患者数126名、カピス Capiz 患者数194名、アクラン Aklan 患者79名で死亡患者1名、ギラマス Guimaras 患者数16名、アンティーケ Antique 患者数12名の発生でした。

(4)台湾[Tiwan Headlines,Central News Agency (CNA)report]

台湾衛生省によると、今年におけるデング熱流行の第二波が勢いをもっているようです。デング熱流行の第一波は、昨年からの春で、約38名のデング熱患者が報告されました。1ヵ月ほど患者発生がありませんでしたが、その後、第二波が発生しました。デング熱患者数は7名で、主に高雄 Kaohsiung 市で発生しています。衛生省疾病対策センター(CDC)は、デング熱流行の第二波に警戒すべきと市民に警告しました。

(5)タイ(パタニ県 Pattani) [The ASTV Manager Online]

パタニ Pattani 県保健当局は、1月1日より入院患者数が400名を越えたことから、住民に警戒を呼びかけるとともに、対策チームに状況の調査と制圧のための準備をするように指示を出しました。患者報告数が多いのは、Muang、Mayo、Nong、Jik の各地区です。